

RPPCメール

リサイクルポート推進協議会

第588号（平成27年7月22日発行）

【今週号の主な内容】

■ 《今週の報道発表》

今週の報道発表はございません。

■ 《RPPC事務局からのお知らせ》

1. NPO法人庄内リサイクル産業情報センターよりメルマガ発行のお知らせ
2. 汚染土壌事業化PTの次回WGの開催について

■ 《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 「境港流通プラットホーム協議会」を設立
2. 「大阪湾港湾の基本構想」懇談会で基本構想（案）を議論
3. 東日本大震災からの復興を通じた資源循環型社会へのアプローチ

=====

《RPPC事務局からのお知らせ》

1. NPO法人庄内リサイクル産業情報センターよりメルマガ発行のお知らせ

当協議会会員のNPO法人庄内リサイクル産業情報センターより、日本海側のリサイクルポート・酒田港の紹介をするメールマガジンが発行されることになりましたのでご紹介します。

メルマガでは酒田港の最新情報や「街」の情報等を読者の皆様に定期的に提供していく予定で、メルマガを通じてリサイクルポートがある街＝ポートタウンがより身近な存在になるよう情報発信されるということです。詳細は添付のサンプル1号をご覧ください。

毎月15日に配信とのことですので、事務局メルマガにも定期的に掲載していく予定です。

2. 汚染土壌事業化PTの次回WGの開催について

下記日時にて開催予定となっておりますのでご確認ください。

記

日 時：平成27年7月28日（火）

13：30～14：30 WG②、⑥

14：30～15：30 WG③・④

15：30～16：30 WG①

【事務局】

=====

《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 「境港流通プラットホーム協議会」を設立

中国地方整備局港湾空港部と境港管理組合は、有識者、経済団体、物流企業等が参画する「境港流通プラットフォーム協議会」を設立、7月11日に境港市において第1回協議会を開催した。同協議会は境港において、国内RORO船等の定期航路化により、山陰地方における海上輸送網のミッシングリンクを解消するとともに、国際コンテナ船、国際フェリー等との接続による新たな物流ルートの模索など、境港の強みを引き出し、物流環境の改善や商流拡大の促進に資することを目的にしている。

当日は有識者、金融機関、経済関係団体、物流関係企業、荷主、行政機関等約40名が出席。会長に堀田収・境港商工会議所会頭を選出。事務局の中国地整港湾空港部から境港の港湾機能強化の取組等について説明があったほか、協議会の今後の進め方やスケジュールについて意見交換した。

【港湾空港タイムス】

.....

## 2. 「大阪湾港湾の基本構想」懇談会で基本構想（案）を議論

近畿地方整備局港湾空港部は7月10日、「大阪湾港湾の基本構想」の第4回懇談会（座長・黒田勝彦神戸大学名誉教授）を開催し、事務局が提案した『大阪湾港湾の基本構想～スマートベイの実現を目指して～』（案）について議論した。当初は当日の意見取りまとめを踏まえてパブリックコメントへと進める予定にしていたが、委員からの指摘事項もあったため基本構想（案）の修正を行い、次回委員会での同意を踏まえパブコメ、年内の基本構想策定へと進めて行くことにした。

大阪湾基本構想は湾内港湾管理者が整合性をとりつつ港湾改訂計画を行うに当たっての長期的な方向付けや指針になるもの。大阪湾内では今後、神戸港、大阪港、堺泉北港等で改訂計画作業が進むことになっており、その際の方向付に活かされることになる。

【港湾空港タイムス】

.....

## 3. 東日本大震災からの復興を通じた資源循環型社会へのアプローチ

日本埋立浚渫協会が7月16日に開催した「平成27年度港湾技術報告会」において、月の泉技術士事務所の渡辺弘子氏が、「東日本大震災からの復興を通じた資源循環型社会へのアプローチ」と題して基調講演し、未利用資源の利用促進に向け、関係者がその目的に向け協力し合う取組の重要性等を述べた。

同講演会で渡辺氏は、東日本大震災におけるインフラ分野の復旧・復興状況を踏まえ、震災瓦礫の公共事業への利用状況、またその有効利用実態を説明。未利用資源の有効利用に向けたアプローチとして、▽流通、供給システムの確立、▽品質に対する発想の転換、▽関係者全員の意識の共有、▽リサイクル材料への価格面の補助、▽リサイクル品利用にあたっての技術開発、の重要性を挙げた。

【港湾空港タイムス】

.....

#####

発行者：RPPC 広報部会

部長：徳田 英司 新日鐵住金（株）

部会員：山崎 和宣 五洋建設（株）

木村 竜也 東京都

梅木 重光 （株）酒田港リサイクル産業センター

紫牟田 和隆 光和精鉱（株）

新谷 聡 りんかい日産建設（株）

リサイクルポータル推進協議会事務局 一般財団法人みなと総合研究財団（内）

担当：本野、井手、榎並 URL：www.rppc.jp E-mail：rppc\_jimukyoku@wave.or.jp

※会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメールマガジンで配信いたします。

※メールマガジンに対する意見、要望がありましたらご連絡下さい。

※メルマガ配信先に変更がある場合は事務局までご連絡下さい。

#####

**PORTTOWN MAGAZINE <サンプル1号>**

2015年7月15日配信

**<PORTTOWNMAGAZIN をご覧の皆様へ>**

はじめまして！山形県酒田市にある NPO 法人庄内リサイクル産業情報センター  
メルマガ編集担当の齋藤です。

国内 22 港あるリサイクルポートの中の一つ、酒田港の最新情報や「街」の情報等を、  
読者の皆様に定期的に提供していきたいと思ひます。このメールマガジンを通じて、  
リサイクルポートがある街 = ポートタウンが読者の皆様にとってより身近な存在  
になりますように努力していきたいと思ひます。

拙い文章ではありますが、最後までお付き合い願えたら幸いです。

それでは、サンプル1号をスタートです！

**///INDEX//////////**

① 酒田港ニュース

- ・上海・寧波航路復活 コンテナ週6便に（6月10日）
- ・イカ釣り船団出港式（6月7日）

② 編集後記

■ 酒田港ニュース \_\_\_\_\_

○ 上海・寧波航路復活 コンテナ週6便に

山形県は6月10日酒田港（酒田市）と中国の上海、寧波両港を結ぶ国際定期コンテナ便が  
21日から7年ぶりに運航されると発表した。酒田港は1995年の国際コンテナ航路開設  
以来初めて、韓国航路を含めて週6便が発着する体制となる。

韓国の南星海運がコンテナ船5隻で運航し、寧波、上海、釜山、新潟、釧路など各港を5  
週間かけて回り、酒田には20日から毎週土曜に寄港する。

<プロスパーポートさかた ポートセールス協議会>

[http://www.port-of-sakata.jp/news2015\\_07.html](http://www.port-of-sakata.jp/news2015_07.html)

○ 酒田港にて恒例のイカ釣り船団出港式

山形県酒田市の飛島出身の漁労長を中心とするイカ釣り船団が6日、酒田港を出港した。  
埠頭（ふとう）で恒例の出航式が開かれ、家族や酒田舞娘（まいこ）らが豊漁と船員の安全  
を祈った。

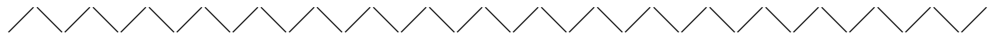
船団は山形、石川両県と北海道の中型漁船13隻でつくる。日本海を主な漁場に来年2月  
まで能登沖から北上しながら操業し、船内で冷凍したイカを酒田や八戸など各港へ水揚げする。

■ 編集後記

最後まで読んでいただきありがとうございます。

サンプル1号はいかがだったでしょうか？これからも読者の皆さんに役立つ情報をどんどん提供していきたいと思ひます。

次回も「PORTTOWN MAGAZINE」をよろしくお願ひします。



PORTTOWN MAGAZINE

発行日：毎月15日配信



《 発行元 》

NPO 法人 庄内リサイクル産業情報センター 担当：齋藤

〒998-0005 山形県酒田市宮海字南浜1番地50

TEL:0234-31-7117 FAX:0234-33-2600

MAIL:norio@sakataport.co.jp

HP: http://www.shonai-recycle.jp/

